

防災・減災 ハード対策

①遠賀川芦屋町堤防整備事業

平成27年7月洪水で浸水被害が生じた山鹿地区において、洪水を安全に流下させるために、堤防整備等を実施します。



②遠賀川直方市街部堤防整備事業

平成30年7月洪水で堤防からの越水の恐れが生じた直方地区において、洪水を安全に流下させるために、堤防整備等を実施します。



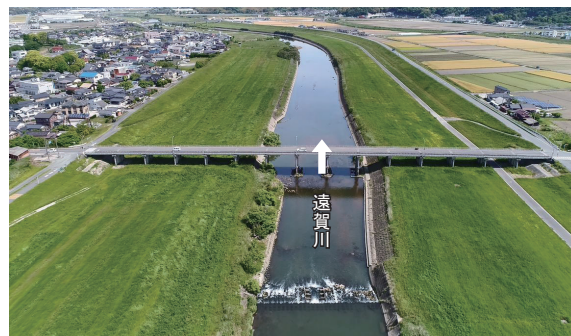
③彦山川上流部再度災害防止対策事業

平成29年7月洪水で家屋等の浸水被害が生じた添田地区において、再度の災害発生を防止するために、堤防整備等を実施します。



④遠賀川中流部浸水被害軽減対策事業

平成30年7月洪水で甚大な浸水被害が生じた飯塚市街部において、被害の軽減を図るために、河道掘削や排水ポンプの増設を実施します。



近年実施した河川事業の効果

遠賀川11k300付近に位置する中間堰周辺は、川の中の断面積が不足し、洪水の時に水の流れを妨げる要因となっていました。そこで、遠賀川河川事務所では「特定構造物改築事業」により、平成21～30年度にかけて堰の改築や川幅の拡幅を実施しました。

堰の改築により、水が流れる断面積が1.6倍に増え、堰の改築及び直方市街地までの河道掘削を行ったことにより、平成30年7月と同規模の洪水に対して、直方市街地付近では約80cmの水位低減効果が見込まれます。

